



益々のご活躍を！ ～ ¡Animo para siempre!～

2016年度永年功労表彰式の開催について

5月14日(土)千葉市生涯学習センター3階特別会議室において、2016年度永年功労表彰式を開催いたしました。



当日ご出席いただいた皆様
(前列左から 田村氏、山岸委員長、実方氏。 後列左から 村上氏、菊原氏、五十嵐氏、茅野氏)

目次

•2016年度永年功労表彰式	・・・1～3	•ユース育成勉強会開催のお知らせ	・・・・・・10
•昇級者のみなさま	・・・・・・4	•ユース及び若手審判員更新講習会	・・・・・・11
•決勝審判インタビュー	・・・5～6	•地域レフェリーフィットネスインストラクターより	・・・・・・12
•新3級審判員実技研修会	・・・7～9	•推薦審査、昇級認定審査のお知らせ	・・・13～15
•レフェリースクール(第2回目)開催のお知らせ	・・・・・・10	•フットサル審判員研修会のお知らせ	・・・・・・16

本年度は次の10名の皆様が受賞されました。

《10年表彰者》茅野祐一氏、大沼理人氏、村上勝則氏

《20年表彰者》岸佳人氏、菊原雅巳氏、実方洋一氏、五十嵐泰之氏、中平昌則氏

《30年表彰者》沼尻誠氏、田村英治氏

当日ご出席いただきました受賞者の皆様に山岸委員長より記念品として表彰盾が贈られました。残念ながらご都合でご欠席された方々には後日発送にてお届けいたしました。

受賞者の皆様より受賞に当たりお言葉を頂戴しましたのでご紹介いたします。

● 茅野祐一氏(10年)

松戸市の4種、つくしサッカークラブに所属しております。2005年4月に審判資格を取得してから丸11年となりました。今回、自薦で永年功労表彰に応募させて頂きました。活動は専ら4種で、松戸市内の大会、第2ブロックや県大会の試合が活動の場となります。所属チームでは学年に関係なく審判をしております。今年の4月は松戸市内の大会やこくみん共済U-12リーグで、十数試合を担当致しました。今後も4種のサッカーに注力し、所属チームの審判有資格者の手本となるよう精進したいと思います。また、市内の4種審判委員会にも所属しておりますので、松戸市を中心に地域の審判育成に少しでも貢献できればと思います。本日は誠にありがとうございました。



● 大沼理人氏(10年)

これまで40年近くにわたり、大阪、兵庫、千葉で3・4種を中心に子供たちの指導に携わってきました。それに伴って審判技術も委員の方々の指導により少しずつ高めていくことができました。今回は千葉県での永年表彰という榮譽ある賞をいただき感激しております。これを機に今一度players firstの精神に立ち返るとともに、観戦する親御さんたちにもサッカーの面白さが伝わるような試合コントロールに努めたいと思います。これまで支えていただいた諸先輩、仲間たちはもちろんのこと、毎週末、小言も言わずにグラウンドに送り出してくれた妻に感謝しています。本日はありがとうございました。

● 村上勝則氏(10年)



本日は、このような場を設けて頂きありがとうございます。2006年に3級になりまして、その後、千葉国体を目指し2009年に2級になり、気がつけば国体が終わってからの方が審判活動の密度が高く、色々な事をやらせて頂きました。ここまで審判をやってこられたのも、この場にいらっしゃる審判員の皆様、県内で活動されている審判員の皆様のおかげだと思っております。第2には、僕の審判活動に理解を示して協力してくれた家族のおかげ、諦めのおかげかなと考えております。今日もここまで送ってもらう時に、実は盾を貰うんだと話をしたところ、ちょっとがっかりしていましたが、持ち帰って見せて感謝を伝えたいと思います。

次の10年は、審判委員会で活動もさせて頂いていますので、千葉県から一人でも多くの1級審判員、それからJリーグ担当、そして世界の舞台に立てる審判員を育成できるように微力ながら努力させて頂きたいと思っております。今日で引退ではないので、これからも審判活動がありますので、中年の中の現役として、今後も宜しくお願いいたします。

● 菊原雅巳氏(20年)

本日はありがとうございます。平成6年に審判資格を取得しまして、そこから失効することなく21年間審判活動をしてまいりました。この間に何度となく捻挫、肉離れ等の怪我をしてきましたがくじけることなく今まで頑張ってきました。現在は4種を主に活動しておりますが、子供と一緒に始められたお父さん、お母さんコーチが審判に興味を持って頂けるよう、また子供が卒団しても審判を続けていけるよう、この20年の経験を伝えていけたら良いと思っております。30年を目指し、怪我しないよう心掛け、試合ごと勉強しながら今後も頑張りたいと思います。



● 中平昌則氏(20年)

今回はこのような表彰をいただき、4級新規取得のころからのことをなつかしく思い出したりしました。体力を維持し、技術向上を怠らず、30周年をめざし頑張ろうとのモチベーションがわいてきました。今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。

● 五十嵐泰之氏(20年)



ユース審判というものが無かった頃に高校2年の終わりに審判資格を取ってから、色々な経験をさせて頂きました。取得当時、東(あずま)委員長の頃から歴代の委員長の皆様、委員会メンバーの皆様、委員会を退かれた先輩方のおかげで、1級、Jリーグ担当、国際審判員で登録させて頂いて、千葉県のおかげでステップアップ出来たかなと、すごく感謝しております。次の10年までは現役でいたいと思いますので、30年表彰を頂く時は、まだJ1の担当でいられたら良いなというのが目標です。今、1級で頑張っている若い審判員とこれから1級になるであろう若い審判員と一緒に活動出来ればと思います。今後とも、どうぞ宜しくお願いします。

● 実方洋一氏(20年)

野田市で活動しております実方です。本日は20年表彰ということでありがとうございます。新規取得したのが平成6年、社会人チームで活動していた時に審判がないという事で取得したのがきっかけです。現在は4種を中心に3種でも活動しています。実は今日一緒に表彰を受けている菊原さんとは同級生で、新規取得した日も一緒に、今日また二人揃って表彰して頂けたという事で、大変嬉しく思っております。彼とはお酒を飲む機会が多いのですが、お互い審判活動をやっている中で、その日の審判活動を振り返り一時間飲んで、そして家族の話で一時間飲んで、最後は仕事の話をして一時間飲んで、飲み過ぎたところで、次の活動に繋げていくという感じで20年間やってきました。今は委員会の普及部と4種審判部の方で活動させて頂く中で、最近ユース審判員が増えてきたと実感しています。今後、ユース審判員の指導も含めて、ユース審判員に負けられないように、これからも走り続けたいなと思っております。今後とも宜しくお願いします。本日はありがとうございました。



● 田村英治氏(30年)



このような席に招いて頂いてありがとうございます。30年ということですが、私の場合、大学生の時に審判資格を取りました。当時、お世話になった方の「教師になるなら、レフリー出来なければ駄目だ！」の一言が、きっかけだったかもしれません。以後、色々な方に指導して頂き27歳で2級に昇格、現在も保ちながら53歳になりました。思えば2級ワッペンの重さを感じて審判をやらせて頂いています。長く活動しているとサッカーも変わったなと感じています。若い頃の2種の大会はすべてトーナメント、負けたら終わりの試合ばかりでした。それは、ある意味で今以上に緊迫感があったかもしれません。幾多と強豪校同士の対戦を審判してきて良い経験となっています。高校の教員なので、2種の試合を担当しています。割当を頂いた時はきちんとした審判をしたと思っています。また、自分の子どもたちがサッカーをしているので、4種の大会に帯同審判で活動もしています。特に、娘が強いチームに所属しているので、関東大会や招待試合等千葉県を離れた場所でも審判をすることがあります。4種の指導者や他県の審判員の方など、色々な場でコミュニケーションが取れてサッカー活動に携われることに幸せを感じています。60歳で教員を退職するまでは活動しようと思います。教壇を下りた時に引退が来るのかなと思っております。体が動く間は最後まで笛を離さないでいきたいと思っております。今後とも宜しくお願いします。合わせて、これからの若い審判員の方々の活躍を期待しています。

また、山岸委員長より以下祝辞をいただきました。

山岸委員長祝辞

本日は誠にありがとうございます。皆さんの活動があるおかげで千葉県のサッカーが盛り上がっているのだと改めて思いました。非常に千葉県のサッカー界は全国的に見ても注目される県の1つですが、皆様がそれぞれのカテゴリーで全力を尽くして活動していただいているお陰だと思っております。これからも、10年表彰の方は20年を目標に、20年表彰の方は30年を目標に、30年表彰の方は40年を目標に継続していただき、皆様が週末をサッカーを通じて生活が豊かになるように、私達も全力でサポートさせていただきます。また、地域に帰っても、若い審判員、同じ年代の審判員問わず、みんなを良い意味で巻き込んで、みんなで千葉県のサッカー界を盛り上げていけたらいいなと思います。今後ともどうぞよろしくお祈りします。

ご昇級おめでとうございます ¡Enhorabuena!

次の皆様が“憧れのワッペン”を手にされました。おめでとうございます。一層のご活躍を期待しております。

サッカー2級	往古薫氏、竹内真理氏、久保田海斗氏、永島淳平氏、室田智広氏、小西和幸氏、齊藤倫也氏
サッカー3級	磯山正巳氏、大橋明子氏、奥間崇広氏、加瀬裕治氏、川口博貴氏、小出俊幸氏、小賀坂吉昭氏、小林章浩氏、小林一馬氏、小林哲司氏、齊藤啓氏、櫻澤寛樹氏、志村大樹氏、立花修二氏、田中啓太氏、田中健太氏、柘植政宏氏、中山利勝氏、西山一郎氏、野中武氏、山室祐司氏、吉井貢氏
フットサル3級	室田智広氏、宮原伊吹氏

昇級者の皆様の中より以下寄稿いただきましたのでご紹介いたします。

● 竹内真理氏(サッカー2級)

こんにちは。竹内真理です。多くの方のサポートを受けて、関東の試験を無事合格し、2級に昇級することができました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

2級昇格のために、3回チャレンジしました。1度目は、競技規則をちゃんと覚えていなくて2次試験の筆記試験で不合格。半年間、競技規則を必死で読み込みました。2度目では、筆記試験は何とかクリアできたものの、実技試験で競技規則の適切な適用が出来ずに、不合格でした。その間に多くの方に見てもらい、技術面、競技規則の理解、サッカー競技の考え方、審判員としての強い気持ちの持ち方などなど、多方面にわたって、貴重なアドバイスや温かい叱咤激励も数え切れないほどいただきました。そして、3度目で、今回の合格となりました。山岸委員長からお電話いただいたときの嬉しさは、筆舌に尽くし難いものでした。

とはいえ、合格した喜びもつかの間。実際のところ、自分が審判を始めたころに、憧れ、畏敬の念を持って見ていたシルバーのワッペンに恥じないようなレフェリングができるかどうか不安でいっぱい、ワッペンの色に合ったレベルに早くならなければと焦っています。体力、走力も落ちるばかりなので、維持だけでなく、向上を目指して、トレーニングに励まなければと、考えつつも、ムキになってケガをしてもいけないしと、気持ちばかりが先行する今日このごろです。これからも引き続き努力をしていきますので、変わらずご指導ください。



● 久保田海斗氏(サッカー2級)



みなさま、はじめまして。我孫子市の久保田海斗です。この度、4月の試験にて2級になることができました。日々指導をしてくださいました皆様。ありがとうございました。

私は北海道から千葉県に移籍してから早くも1年がたちました。北海道より試合数も多く1年中サッカーができることがうれしいです。現在は中央学院大学に所属しており、今年からトレーニングもさせていただいております。審判員を始めたきっかけは特にありませんがフィーリングで楽しいと思ったので高校のときから続けてきました。高校時代は担当する試合の選手の皆さんは全員年上ということもありいろいろ大変でしたが今まで続けてくることができた環境に感謝しています。今年もより多くの試合をできるようにコンディションを整えていきたいと思います。この度はありがとうございました。ご指導よろしく願いいたします。

● 田中健太氏(サッカー3級)

私はサッカー経験がなく、どちらかと言えばサッカーよりも野球の方が好きでした(笑)

サッカーに縁もゆかりもなかった私が審判を始めたきっかけは、子供が町のサッカークラブに入り、何か協力できることはないかと考えた時に審判なら未経験者の私でもチームに貢献出来ると思ったからです。それからチームのスタッフとして子供の試合に帯同し、私の審判活動がスタートしました。

今回無事3級の試験に合格することが出来ましたが、3級を取得しようと思った理由は3つあります。

1つ目は会社の上司の言葉で「会社以外で知り合いを100人作る事が目標」を自分も実践しようと思ったからです。会社という限られた世界での付き合いしかなかった私ですが、スタッフになってからは、様々な職業や考えを持った方と知り合う事が出来、刺激を受けました。更に、3級の資格を取り派遣審判を行えば、より多くの方と知り合う機会が増えます。

2つ目は自分自身の審判レベル向上を図るためです。以前、4種の試合で不可解なジャッジによって勝敗が決まった事がありました。そのため、自分が審判を行う場合は、選手・コーチ・サポーター全員がジャッジに納得し、リスペクトしたくなる試合にしたいと思います。

3つ目は今年3月に小学校を卒業した自分の子供やチームメイトの試合の審判を行うことです。小学校を卒業すると練習や試合に携わる機会はなくなります。そのため、成長した子供やチームメイトのプレイをフィールド上で、しかも間近で見れる事を楽しみにしています。

今回の合格で、ようやく3つの目標のスタート地点に立つことが出来ました。

今後は3級審判に恥じないジャッジをするとともに3つの目標を達成するために、心・技・体ともに成長できるよう努力していきたいと思っています。



平成28年度第31回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会千葉県予選

平成28年5月29日(日)13:30キックオフ ~フロンティアサッカーフィールド~

WINGS 4(1-1,3-0)1 FCクラッキス松戸

主審:中山 雅之氏、副審:八木下 健司氏、戸島 孔明氏、第4の審判員:浮田 大誠氏(文中敬称略)

日本代表合宿の余韻が感じられるフロンティアサッカーフィールドで関東大会への千葉県第1代表を決める戦いが行われました。選手のご家族や残念ながらメンバーには入れなかった選手達、近隣のサッカーチームの選手達等多くの観客がスタンドから声援を送っていました。試合後の決勝審判表彰時には、スタンドから「ナイスレフェリー」「お疲れさまでした」など温かい声を頂き、同じ審判仲間として嬉しくなりました。そんな決勝審判団に試合後インタビューを行いました。



Q 普段の活動を教えてください。

中山： 県からの割当を受けています。割当が無い日には子供が所属していた少年のチームの帯同審判としても活動しています。

八木下： 2年半ぶりに千葉県に戻ってくることができて、この4月からまた割当を頂いて活動しています。1種2種3種問わず、場所も問わず頂いた割当はどこにでも行きます。

戸島： 私も中山さんと同じように県からの割当を受け、割当が無い日には子供が所属していた船橋の少年団で帯同審判をさせてもらっています。

Q 割当が無い日もチームに行くということは、土日はほとんどサッカーということですか？

戸島： 基本的にそうですね。

Q 家庭とのバランスはどうされているのですか？

中山： 午前中が試合のときには必ず午後買い物に行くとか、試合帰りにコンビニで甘いものを買って帰ったりしています。

戸島： 私は子供達がサッカーをしていることと、家族全員がサッカーが好きなので特に問題はありません。

八木下： 僕にはそういったコントロールをすることが無いです。

Q 今日の試合を振り返っていかがでしたか？

中山： 激しくてもフェアなプレーとファウルプレーをきちんと見極めようと。そのうえで頑張って続けられるものはアドバンテージを適用しようと努めました。また手の不正な使用についてはきちんとファウルをとろうと思っていました。そのためになるべく近くポジションをとりたいたとは思っていたのですが、寄り切れないこともあったので今後の大きな課題だと思っています。

八木下： 可能な限りフィールドに正対して、主審に少しでも安心感を与えられるよう意識しました。サイドステップを多く取り入れる事を意識しました。また、レフェリーとアシスタントレフェリーでは負荷のかかる筋肉が違うので、日頃のトレーニングや体調コントロールを含めた準備の重要性を感じました。

戸島： 決勝戦ということですが、やるべきことは変わらないしplayers firstと主審を援助すること。いつも通りの精神状態で臨もうとしましたが緊張はしました。ですが試合が始まると集中でき、オフサイドラインキープ・ファウルサポート・シグナルときちんと行おうと常に考えていました。時間が過ぎるのが早く感じました。



Q みなさんお仕事をされているので残業があったり付き合いがあったりと、トレーニングをしたくても中々時間がないということもあると思います。そうした中で試合に向けたコンディショニングの調整で工夫されていることがあれば教えてください。

中山： 走ることができるのが一番良いとは思いますが。電車通勤なのですが歩く距離を長くしたり、ビルの7階にある会社にはエスカレーターは一切使わずに階段で上っています。それから水曜日和金曜日は残業がないのでRAちばのトレセンや勉強会にも参加するようにしています。それと飲み会は早めに帰る。

八木下： 残業があるとどうしてもトレーニング時間が確保できなくなってしまいます。それでも30分でも15分でも5分でもやった方が良いでしょう。それくらいの時間なら捻出できますし、たとえ走れなくても筋トレをすれば何かしらやった方が良いでしょうと思っています。

戸島： 通勤の朝と夜どんなに雨が降っていても20分ほど速歩をしています。毎日やっています。船橋のレフェリートレセンにも参加し体力・技術・精神様々な面でご指導頂きお世話になっています。それから最近始めたことで効果はわからないのですが自宅でできるダンシングエクササイズをやっています。家族で楽しみながら筋トレができ、メンタル的にも明るくなれて始めて良かったと思っています。

こうした日々の積み重ねが決勝戦へのアポイントにつながったのだらうと感じました。これからも千葉県サッカーを一緒に支えていけたらと思います。

新3級審判員実技研修会の感想

2016年5月29日(日)習志野市茜浜グラウンドにおいて、千葉県女子サッカーリーグ(2部リーグ)で新3級実技研修会を行いました。参加者の感想を紹介します。

● 小林一馬氏(印旛郡)

本日の試合は暑い中最後まで走りきれたので良かったと思います！3級となってから初めての試合で緊張したけれど自覚を持って試合に臨めたので良かったです。

一方まだまだ修正しなくてはいけない部分や課題が明確になったので今日学んだことをこれからの審判活動に活かしたいと思いました！とても充実した1日になって良かったです。



● 西山一郎氏(佐倉市)



3級取得後の研修会にて、第4番を担当させて頂きました。普段は4種を見ておりますが、ベンチコントロールや交代など本日伺った第4番の重要性に、眼からウロコが落ちた感がありました。このような貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

● 小林哲司氏(浦安市)

この度は新3級審判員実技研修に参加させて頂き、ありがとうございました。

4級審判員になってから1年も経たず、且つ、4種かシニアの担当しかしていない自分に務まるのか？と正直不安でしたので、集合時間の約1時間30分前には現地に着くようにして、前の試合を担当する方々のミーティングの様子や試合後の振り返りを盗み見させて頂きました。普段、4種で通用している常識がほとんど通用しないなど、試合前はかなり焦る部分もありましたが、試合前のミーティングをしっかりと行うことで冷静に対応出来たのでは無いかと考えています。改めて、事前のミーティングは極めて重要なのだなと思い知らされました。

今後は、本日学んだ様々なことを自分が所属しているクラブチームのコーチ陣及び選手達にも共有し、全体的なスキルアップを図ることが出来たら良いなと考えています。またこのような研修があった際には、積極的に参加したいと思います。

本日は本当にありがとうございました。



● 小林章浩氏(江東区)

普段の活動であり主審を担当することがないので、試合前の打合せや試合を進めていくことに緊張もありましたが、審判団の皆様のご協力もあり、円滑に進めることができました。この場を借りて御礼申し上げます。今回の研修会のテーマは『主審と副審との協力』ということで、試合の中ではアシスタントと4thの方々とアイコンタクトを取り、確認し合いながら試合を進めていくことに務めました。そうした中で、自分自身の課題や4人の審判団として心がけるべきことなど真殿さんはじめインストラクターの方々にご指導頂き、学ぶことの多い貴重な一日になりました。今後、実践の中で今回見つけた課題を一つずつクリアにしていき、スキルアップできるよう努めて参ります。今後ともご指導の程、何卒宜しくお願い致します。



● 吉井貢氏(船橋市)



本日は右田さまの実技指導と、真殿さま、稲葉さまより貴重な指導を頂き、大変有意義な研修を受講でき、とても感謝しております。以前から、船橋市サッカー協会審判委員会のレフェリートレセンで柿沼審判委員長を始め、稲葉さま、県協会の上級審判員の指導を仰いでおり3級審判員に合格することができました。

これからは、水色のワッペンで恥じぬよう自己成長に努めると共に船橋市サッカー協会審判委員会強化育成部として審判員の指導や育成に精進したいと思います。本日は大変お世話になり、ありがとうございました。今後とも宜しくお願いします。

● 小出俊幸氏(八千代市)

ご指導頂きましたスタッフの方、本日は有難うございました。今日は、いつもの4種と違う1種の試合でとても緊張しました。試合前のミーティングや打合せで、細かな部分までの確認をする必要性を改めて感じました。試合を含めて試合前後のミーティングを通していろいろと学ぶ事が出来ました。これからの活動にしっかりと活かしていこうと思います。



● 田中健太氏(千葉市)



3級実技講習に参加して、多くの事を学ぶことが出来たとともに、今まで自分が行ってきた4種の審判活動との違いの大きさに驚きました。まずは審判ミーティングの内容とかかった時間です。4種では試合開始前30分に行っている関係上、内容は簡潔でしかも短時間で終わっていました。今回は項目一つごとに様々な場面を想定し打ち合わせを行ったので、今まで意識していなかった事例が多くありました。また、フルピッチで70分のゲームの主審を行うのは人生初めてだったので、1週間前からジョギングを行い準備してきたつもりでした。しかし、後半に疲れてしまい運動量が落ちてしまったのは反省です。試合終了後のミーティングでは、指導員の方がプレーの見る位置や動き方を具体的に紙に書いて説明していただいたので、とても参考になりました。今回の研修で自信がついた点もありましたが、自分に不足している点も多く分かりました。これからは、7月以降の派遣審判に参加してより一層審判レベルの向上に努めて行きたいと思います。

● 大橋明子氏(船橋市)

本日は研修会に参加させていただきご指導いただきましてありがとうございました。副審を担当させていただきました。ラインキープがズレてしまったり、フラッグアップのタイミングが合っていない時があったり直さなければいけない所がありました。インストラクターの方が仰っていましたが今は3級の資格を持っただけです。きちんと見極める事が出来るよう様々な試合の審判をし、トレーニングをして立派な3級審判員となれるよう説得力のあるジャッジを心がけて頑張っていきたいと思います。



● 柘植政宏氏(松戸市)

このたびはこのような機会を頂きましてありがとうございました。

普段は4種の子供たちの審判を行う機会が多く、社会人なども経験していましたが、女子2部リーグという未経験のカテゴリーの審判を行うことができましたので、良い経験をさせて頂く事ができました。今回はA1を担当したのですが、4種との違いはグラウンドの大きさはもちろんの事、プレースピードの速さ、キック力の違いに最初はとまどいしましたが、逆にごちゃごちゃした感じが少なく、展開の先を読める部分などもあり、女子の上のカテゴリーの試合を楽しみながらレフェリングすることも出来ました。但し指摘を頂きました最終ラインキープの難しさ、旗を揚げる際にグラウンドに正対しなければならぬ基本動作、覗き込む自分の癖など、自分ではまったく気が付かなかった点ばかりでしたので、ものすごく勉強になりました。次回は主審の割り当ても頂いて経験を積んでいき、更に上を目指していきたいと思います。ありがとうございました。



● 志村大樹氏(千葉市)



私は都合により当日まで参加できるかわからなかったため、観戦という形で参加させていただきました。ほかの方が審判をされているところを、インストラクターの方と一緒に観戦させていただき、リアルタイムで良い点や改善点などを聞くことができたいへん勉強になりました。私は普段は4種の審判しか行ったことがないので、フルコートでの試合は体力的にも精神的にもさらに鍛えていかなければならないと痛感しました。今後、いろいろな試合で審判経験を積み、3級審判員として恥じないように努力していきたいと思います。

● 櫻澤寛樹氏(勝浦市)

今回の研修テーマは「主審と副審の協力」ということでした。私は主審を担当させて頂き、実際の試合中は副審2名の方々と4thの方にも助けて頂きながら積極的に「アイコンタクト」でコミュニケーションをとり、「公平なジャッジをすること」、そして一生懸命走ってピッチ全体を広く見ながらも、「ボールの近くで観るポジション」を心掛けました。しかし、試合前の審判団の打ち合わせから試合を終結するまで、私自身ももっとも早く、より良いジャッジができなければいけないと感じ、試合後に行われた反省会でもインストラクターの稲葉さんから多くのアドバイスを頂き、「もっともっと学ばなければいけない」と改めて強く考えることが出来ました。今回の研修を通してインストラクターの方、今回審判団としてサポートして頂いた方々から審判として様々なことを学ぶことができる良い機会となりました。今後少しでも上のレベルで取り組むことができるようさらに経験を積み、日々精進していきたいです。



● 野中武氏(千葉市)



毎年参加していた“シニア審判研修会”の場で「今年こそ3級とります！」と宣言していたこともあり、念願かなっての3級デビューとなりました。今回はA1を担当することになったのですが、3級になって初の公式戦でもあり、かつ初めての派遣審判ということもあり、試合開始まで若干緊張してましたが、試合開始後は比較的落ち着いて対応できたと思っております。試合後の反省会ではインストラクターの方に、事象毎のレフェリングについての確認、対応ポイントを具体的に指摘いただけたことは非常に貴重な経験となりました。最後になりましたが今回の研修にて準備頂きました協会の皆様本当にありがとうございました。今後も自分の技量をあげてゆきたいと思っております。

2016年度 (公募) レフェリースクール開催のお知らせ

審判活動に本気で取り組みたい、県内公式戦の審判割当を受けたい、上級審判の資格にチャレンジしたい、更に上達したい等、向上心のある3級審判員を対象に【レフェリースクール】を開催いたします。

年間全4回の開催を通じて、実技研修および競技規則の勉強会を実施します。全回数に参加できなくても構いません。向上心の火を消さない方であれば、大歓迎です。

■ 2016年度 第2回 (日帰り)

日時:2016年9月25日(日)

会場:未定

■ 応募資格

年齢:不問(ユース・シニアも可)

資格:サッカー審判員3級取得者

: 競技部からの審判割当を受けている、または今後定期的に受諾できること。

■ 締切

2016年8月31日(水)または定員(8名)に達し次第。

※第3回以降は随時募集いたします。

■ 申込方法

以下の項目を下記【申込先】までメールにてお送りください。

- ① 氏名(ふりがな)
- ② 生年月日(西暦)
- ③ 登録番号
- ④ 3級取得年月日
- ⑤ 連絡可能電話番号
- ⑥ 連絡可能Eメールアドレス ※エクセルファイル閲覧不可の場合はお知らせください。
- ⑦ 全経験試合数(主審○試合、副審○試合) ※練習試合も可。

■ 申込先

育成部・右田智也(みぎたとしや) t.migita@ab.auone-net.jp 090-3691-4134

■ 備考

※受講料(一般:¥1,500 ユース:¥500)を当日ご持参下さい。

※レフェリースクールでの更新はできません。

※各研修会場への交通費および昼食は各自でご負担ください。

※実技を受講の際は、審判服等審判用具一式を各自でご用意ください。

※その他不明な点は、育成部・右田までお問い合わせください。

2016年度 ユース育成勉強会(公募)のお知らせ

ユース審判員を対象に、年間を通じてレフェリー技術向上と競技規則の理解を図ります。資格は取得したが実際に活動する機会が無い、審判活動は行っているがインストラクターのアドバイスを受けたことが無い、更に上達を目指したいなど、現時点でのレベルは様々で構いません。是非この機会に「ユース育成勉強会」に登録をし、指導を受けてみませんか? 登録者には直接、育成部が毎月1回開催する実技研修会や競技規則勉強会のご案内を差し上げます。申込み、参加要項は以下の通りです。

■ 応募資格

※年齢 :18歳以下(2016年4月1日現在)

:19歳以上の学生の方で登録希望の方は、下記【申込先】までご相談ください。

※資格 :サッカー審判員4級及び3級取得者

※研修会参加にあたり、保護者の同意が得られること

■ 申込方法

以下の項目を下記【申込先】までメールにてお送りください。2016年度「ユース育成勉強会」参加者としての登録完了のお知らせを返信します。(年中随時受付)

- ① 氏名(ふりがな)
- ② 生年月日(西暦)

- ③ 資格(級)及び登録番号
- ④ 在籍学校名または所属チーム名
- ⑤ 連絡可能電話番号
- ⑥ 連絡可能Eメールアドレス ※エクセルファイル閲覧不可の場合はお知らせください。
- ⑦ 全経験試合数(主審○試合、副審○試合) ※練習試合も可。

■ 申込先

育成部・右田智也(みぎたとしや) t.migita@ab.auone-net.jp 090-3691-4134

■ 備考

※「ユース育成勉強会」の申込・登録費用は不要です。
 ※育成部が案内する勉強会での受講料は不要です。(勉強会での更新はできません)
 ※各研修会場への交通費および昼食は各自でご負担ください。
 ※実技を受講の際は、審判服等審判用具一式を各自でご用意ください。
 ※育成部が案内する研修会への参加は、学校行事(部活動を含む)を優先してください。
 ※その他不明な点は、育成部・右田までお問い合わせください。

ユース&若手審判員集まれ!

<第12回ユース及び若手審判員更新講習会>

—あふれるエネルギーをこの1泊2日に!—

昼間は実際にU-15の試合をお借りしての実技研修や主審・副審の動き方についてのトレーニング、また千葉県選手権決勝の観戦研修を実施します。夜間は同年代の仲間(ライバル?)たちとの親睦を深めつつ、ビデオを使った研修を実施します。

日時 : 8月20日(土)~21日(日)宿泊研修(更新講習会)

対象 : 年齢12~25歳

資格 : 3級及び4級取得者(初心者の方も大歓迎です)

場所 : 千葉市内中学校・フクダ電子スクエア 他(予定)

宿舎 : 篠原旅館(千葉市中央区松波2-2-8)

費用 : 3級(12~18歳) ¥2,000 :3級(19~25歳) ¥6,800

:4級(12~18歳) ¥1,500 :4級(19~25歳) ¥6,000

※いずれも更新費用・受講料が含まれた金額です。下記の申込先より申し込み後、各自にて支払期限までにお支払ください。

※宿泊費用は8月20日(土)当日、別途集金いたします。

(12~18歳) ¥5,000 (19~25歳) ¥8,000

申込先 : 「KICK OFF」から「講習会・研修会区分」にて「更新講習会」を選択し、以下をお申込み下さい。

○【25歳以下限定:ユース若手対象】サッカー3級(または4級)審判員実技更新講習会

※更新なしで参加希望の方、単日での参加希望の方は下記問合せ先までご連絡ください。

※単日での更新はできません。

※その他不明な点は、下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ先: (育成部) 右田 智也(みぎたとしや) 090-3691-4134

E-Mail: t.migita@ab.auone-net.jp

若い審判員の皆さん!ご参加お待ちしております!

地域レフェリーフィットネスインストラクターより

地域レフェリーフィットネスインストラクター 牛尾眞一郎 ushishi2010@ybb.ne.jp

今回は熱中症対策！

「熱中症のメカニズム」

熱中症には4つのタイプがあります。

症状が軽い順に、熱失神→熱けいれん→熱疲労→熱射病となり、この4つをまとめて「熱中症」と呼びます。それぞれのメカニズムを理解して熱中症を予防しましょう。



熱失神

暑さで熱を発散するために、皮膚の血管が広がると、血流が減るため血圧が低下します。そのため、脳に送られる血液の量も減ってしまい、ふらふらして、集中力も低下します。めまい、顔面蒼白、脈が速くて弱くなる、一時的に失神するなどの症状が出る場合があります。

熱けいれん

汗を大量にかき、水分だけを補給した場合に起こります。汗として排出されるのは、水分だけではなく、塩分も排出されているのです。そのため、水分だけを摂って塩分を摂らないと血液中の塩分(ナトリウム)濃度が低下します。電解質のバランスが崩れ、筋肉のけいれんやこむら返りで強い痛みを伴うことがあります。暑い日に走っていて、けいれんが起きたらまず、塩分不足を疑ってみましょう。足を伸ばすのではなく、ナトリウムを摂取することで、20～30分で痛みが治まることが多いです。

熱疲労

大量の汗をかくことで、水分、塩分共に足りなくなり、重度の脱水症状を起こした状態です。暑いために血管は広がり、脱水によって血流が減るために低血圧となります。ただし体温調整機能はまだ働いており、発汗はみられます。症状としては、風邪に似た症状で、全身倦怠感、悪心・嘔吐、頭痛、集中力・判断力の低下などがあります。

熱射病

熱疲労が更に悪化した状態です。脱水症状が悪化し、体温調節機能が働かなくなるため発汗もなくなります。体温も上がり続け、40℃を超える場合もあります。死亡するケースもあります。意識障害やふらつきといった症状もみられます。

サッカーにおける熱中症は、野球、陸上に次いで3番目に多いです。帽子をかぶらなかつたり、水を飲むタイミングが難しく長時間続けて活動することが要因に挙げられています。

運動中の水分補給の原則

量は、「失った分」。

タイミングは、「15～20分ごと」に「150ml～250ml」

中身は「5～15℃」の「糖質とナトリウムが含まれたもの」

日本体育協会は、0.1%～0.2%の食塩(ナトリウム40mg～80mg/100ml)と糖質を含んだ飲料を推奨しています。特に1時間以上運動をする時は、4～8%の糖質を含んだものを摂取しましょう。利用するときには、成分表なども気にしてみると良いと思います。

スポーツ中や練習中の水分補給としては、スポーツドリンクが適しています。しかし、練習中に頭痛や立ちくらみ、吐き気、嘔吐の症状がみられた場合には経口補水液の方が適しています。これは熱中症の症状とも似ていますので、熱中症が疑われる場合には経口補水液の利用も考えてみましょう。もしも、のことを考えるとカバンに1本入っていると安心ですね！

熱中症対策には、JFAも取り組んでいます。「熱中症対策ガイドライン」も参考にしてみてください。

これからもウォーミングアップ、クールダウン、トレーニング方法、走り方、リハビリ方法、栄養など一緒に勉強していきましょう。

ご質問、勉強したいことありましたらどんどご連絡ください。

《2016年度 第2回 サッカー2級審判員推薦審査のお知らせ》

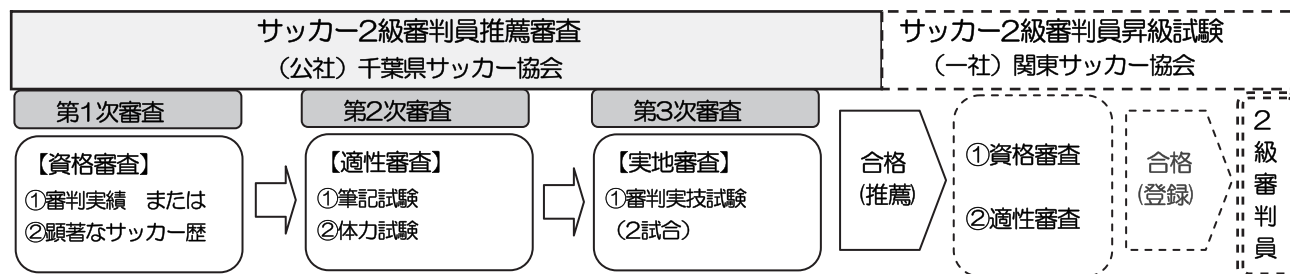
(2017年4月の2級昇級試験へ推薦するための審査です)

サッカー2級審判員への昇級を希望するサッカー3級審判員の方は、次の方法でチャレンジしてください。

1. 推薦審査について

- (1) (一社)関東サッカー協会(以後、関東協会とよぶ)が主催する試合の主審を務める技能を有することを審査する。

《サッカー2級審判員への昇級の流れ》



* 本案内文は上図の実線部分(推薦審査)を示します。

- (2) 参加者は、審査にあたって不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
 (3) 申込み時に 18 歳以下の者が、審査に参加するには親権者の同意がなければならない。

2. 資格要件

- (1) 受験資格：2016年度に(公社)千葉県サッカー協会サッカー(以後、千葉県協会とよぶ)のサッカー3級審判員に登録していること。
 (2) 健康など：受験前の1年以内に健康診断を受診していること(職場や学校などの定期健康診断を含む)。なお、スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
 (3) 審判活動：サッカー2級審判員への昇級後は、(公財)日本サッカー協会や関東協会および千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

3. 審査概要

別紙一覧表による。

4. 審査実施日

- (1) 第1次審査：申込みの受付期間は、後日、千葉県協会審判委員会Webサイトに掲載する。
 (2) 第2次審査：2016年10月10日(祝月)に野田市総合公園陸上競技場にて実施する。
 (3) 第3次審査：対象者(第2次審査合格者)に可能日調査を行い、実施日を決定する。

5. その他

第3次審査に合格し、次年度サッカー2級昇級試験(関東協会主催)を受験するには、3級審判員の資格を更新する(2017年4月1日時点で千葉県協会所属の3級審判員である)必要があります。

《サッカー2級審判員推薦審査の審査概要》

●第1次審査

千葉県協会のサッカー3級審判員で以下の(1)または(2)の要件を満たすこと(千葉県協会審判委員会が指定する書類を持って自ら証明すること)。

審査の内容等	合否基準	必要な書類	備考
○審査提出書類	不備のないこと	①昇級推薦審査参加申込書 ②審判員証(写真付)のコピー	千葉県協会審判委員会 Web に掲載
(1) 審判実績	30 以上	③REFEREES' DIARY のコピー	・4種の試合は1日2試合迄計上できる(8人制を含む)。 ・フットサル・ビーチサッカーの試合は含まない。
1) 総試合数	15 以上	④実績記載用紙(S2)	千葉県協会審判委員会 Web に掲載
2) 公式試合(千葉県協会主催以上)の主審実績数			
(2) 顕著なサッカー歴	都度審査	⑤経歴書(自由書式)と証明書類	・経歴書には顕著なサッカー歴(例;全国大会に選手・役員で出場等)を記載 ・証明書類は上記を示す書類(大会プログラム等)

●第2次審査

第1次審査の合格者を対象とした筆記試験と体力試験を指定する期日に受験し、以下の基準を満たすこと。

審査の内容等	合否基準	備考
(1) 競技規則等に関する筆記試験	80点以上	・第2次審査の合否は当日に発表 ・合格者は同日に実施する講義(約2時間)を必ず受講する
(2) 体力試験	6.9秒以内×6(1回のみやり直しを認める)	
1) 40m走		
2) インターバル走(150m40秒以内+50m50秒以内)	連続16回以上(1回のみやり直しを認める)	

●第3次審査

第2次審査の合格者を対象とした実技試験を指定する試合において受験し、以下の基準を満たすこと。

審査の内容等	合否基準	備考
審判実技(2試合以上)	派遣された審判アセッサーの評点が8.0以上	

《2016年度 第2回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

2016年度、第2回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2016年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① サッカー4級審判員として10試合以上の審判を行っていること。
 - a. 10試合のうち、8試合以上主審を務めていること。
 - b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。
 - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。
 - ② サッカー3級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。
 注意：顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
 3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

- 第1次審査：書類審査
 - ① 審判実績確認：REFEREES' DIARY審判記録のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。
 ※審判委員会ホームページの昇級認定審査(S3)申込書を使用して提出
 - 第2次審査：第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・ 2016年10月10日(祝月)野田市総合公園 体育館・陸上競技場
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
 - ・ 体力試験
 150m(50秒以内)+50m(60秒以内)インターバル走、12回連続で走ること
 - ・ 講義(2次審査当日合否発表後)
 合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する
- ※ 詳細等が決定次第、Webサイトに掲載いたします

《2016年度 第2回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ》

(この推薦予備試験は2017年4月(予定)に行われる関東協会2級昇級試験のための予備テストです)
フットサル2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

- (1) 受験資格: 2016年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー2級審判員、もしくはフットサル3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績を有していること
 - ① フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。
 - a. 15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものを計算する。
 - ② サッカー2級審判員
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
フットサル2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や(一社)関東サッカー協会、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) (一社)関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

- 第1次審査: 書類審査
 - ① 審判実績確認: 審判手帳のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。 ※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出
- 第2次審査: 第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・ 2016年10月10日(祝月) 野田市陸上競技場
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
 - ・ 体力試験
1,000m走 4分40秒以内、スピードテスト(10m) 12秒以内2セット、アジリティーテスト(30m) 23秒以内2セット
 - ・ 講義「2次審査合否発表後 後日」 合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する
- 第3次審査: 2次審査合格者に対して、実技審査を実施
 - ・ 3試合実施する。 3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。
推薦審査(F2)申込書と、審判証の写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREES' DIARY審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申し込みをしてください。
- ② 受験費用: 2,000円
(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)
※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載いたします。

《2016年度 第2回 フットサル3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

2016年度、第2回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格: 2016年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のうちどちらかを有していること
 - ① フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。
 - a. 経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。
 - ② サッカー3級審判員。
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)

② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

フットサル3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

● 第1次審査; 書類審査

① 審判実績確認: 審判手帳のコピー提出による。

② 昇級認定審査参加申込書による。 ※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出

● 第2次審査: 第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

・ 2016年10月10日(祝月) 野田市総合体育館/野田市陸上競技場

・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 70点以上

・ 体力試験

1,000m 5分30秒以内、スピードテスト(10m) 14秒以内2セット、アジリティーテスト(30m)26秒以内2セット

・ 講義(合否発表後) 合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する

4. 申込方法

① Webでの申込手続きを完了させてください。

昇級認定審査(F3)申込書と、審判証(現在)の顔写真側のコピー、審判実績15試合分以上の REFEREES' DIARY審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申し込みをしてください。

② 受験費用: 2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載いたします。

2016年度フットサル審判員研修会のお知らせ

カテゴリー審判員研修会

2016年8月21日(日) 16:00~18:00 会場:スポーツコミュニティー浜野、2016年10月22日(土) 時間未定 会場:未定

帯同審判員対象フォローアップ研修会

2016年8月13日(土) 時間:19:00~21:00 会場:天台体育館、2016年8月28日(日) 時間未定 会場:未定

2016年9月3日(土) 時間:19:00~21:00 会場:東金アリーナ

F2, F3実技更新講習

2016年9月25日(日) 9:00~17:00 会場:スポーツコミュニティー浜野

広告主さま募集しています

・ 千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。

・ 募集枠は、1枠 (1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。

・ この枠が1枠の大きさの目安です。

詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局 (TEL 043-310-4888) にご連絡をお願いいたします。



編集後記

競技規則改正・AARの設置等我々の身の回りも少々慌ただしくなりそうですが、正確な情報に基づき十分準備をしたうえで今後の活動に臨んで参りましょう! (ATSU)

レフェリーニュース編集員

木川 綾

E-mail : girasole@gol.com

染田 洋

E-mail : spzg2dw9@tea.ocn.ne.jp

唐崎 敦好

E-mail : megusta_futbol@kxf.biglobe.ne.jp

長谷川 鉄哉

E-mail : jef_hasechan@tbz.t-com.ne.jp

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

http://cfa-referee.lolipop.jp/